



和歌山県立 高等看護学院

学院案内 令和5年

位置図



●お問い合わせ先●

和歌山県立高等看護学院

〒649-6604 和歌山県紀の川市西野山505番1

TEL 0736-75-6280 FAX 0736-75-6283

e-mail e0501111@pref.wakayama.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050111/kenkan>

令和5年4月1日



Wakayama Prefectural Nursing School

豊かな環境の中、充実した設備で 次代を担う人材を育成します。



教育理念

- 人間尊重を基盤とし、調和のとれた豊かな人間性を備えた人材を育成します。
- 助産、看護に関する必要な知識・技術・態度を備えた人材を育成します。
- 主体性・創造性を備えた人材を育成します。
- 専門職としての責任感や研究的態度を備えた人材を育成します。

特色

伝統

昭和25年5月に開学。以来、令和5年3月までに学院を巣立った卒業生は約5,079人。県内の医療機関などで活躍中。

総合

看護師養成(3年課程)、助産師養成の2課程がある総合学園。

環境

医聖華岡青洲にちなむ「青洲の里」に隣接し、周囲を緑に囲まれた、静かなキャンパス。伸び伸びと学ぶ、落ち着いた日々。

学科及び定員

学 科	1学年定員	総定員	修業年限	備考
看護学科	50人	150人	3年	
助産学科	5人	5人	1年	

沿革

- 昭和25年 5月 新制度による看護師養成所として和歌山県立医科大学附属高等看護学院を設立
5月22日開校
- 昭和27年 4月 和歌山県立高等看護学院と改称
和歌山市徒町に新築し移転
- 昭和28年 2月 所管変更により看護師養成所として
厚生省認可
- 昭和28年10月 保健師養成所として厚生省認可
- 昭和42年 2月 助産師養成所として厚生省認可
- 昭和42年 4月 保健助産学部(合同コース)の養成開始
- 昭和42年 9月 和歌山市和歌浦に新築し移転
- 昭和43年12月 進学課程(夜間3年)の看護師養成所として
厚生省認可
- 昭和53年 3月 専修学校として認可
- 昭和55年 4月 看護学科一部の定員を45名に増員
保健助産学部を保健学科・助産学科に
分離し定員をそれぞれ15名とする
- 昭和58年 4月 保健学科の定員を20名に増員
- 平成 2年 4月 看護学科一部の定員を50名に、
看護学科二部の定員を45名に増員
- 平成 6年 4月 看護学科二部、夜間から昼間の定時
制に移行
- 平成11年 4月 那賀郡那賀町に新築し移転
- 平成17年11月 紀の川市となる
- 平成19年 3月 保健学科の閉学科
- 平成23年 4月 看護学科二部の定員を40名に減員
- 平成24年 4月 看護学科二部の定員を35名に減員
- 平成29年 4月 助産学科の定員を10名に減員
- 令和 2年 3月 看護学科二部閉課
- 令和 2年 4月 看護学科に名称変更
- 令和 4年 4月 助産学科の定員を5名に減員

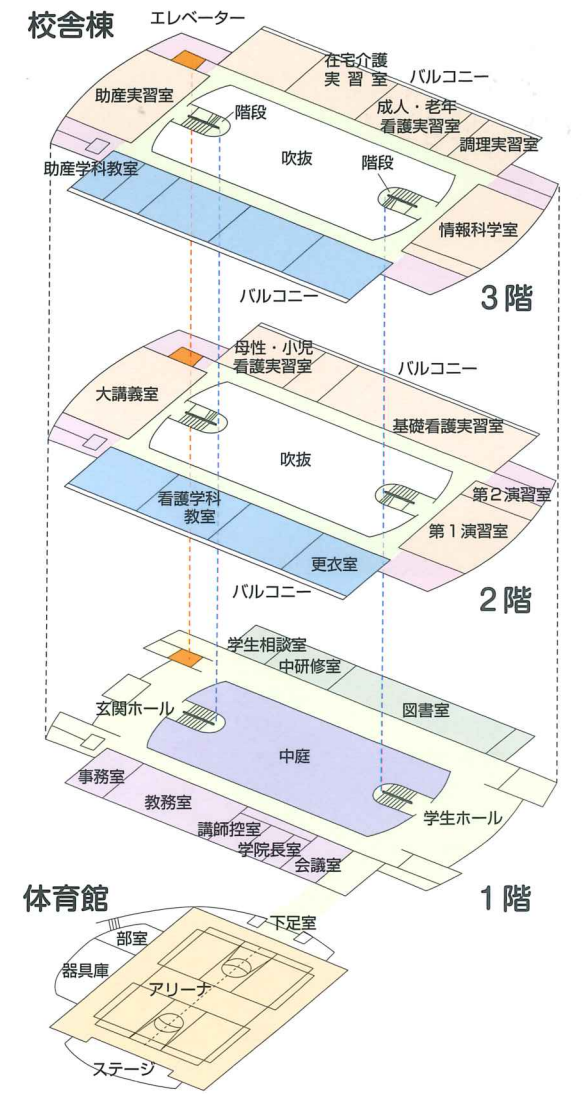
学費及び修学資金

授業料(年間)	120,600円
入学検査手数料	5,500円
入 学 金	22,000円
修 学 資 金 等	・修学資金を貸与する制度があります。 ・入学金及び授業料を減免する制度があります。 ・専門実践教育訓練給付金の支給対象校(看護学科のみ)です。

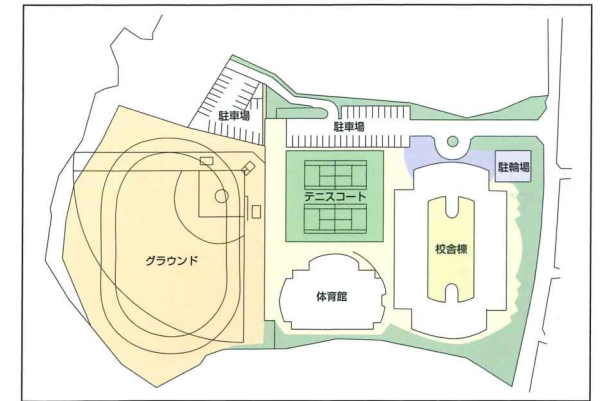
その他

スクールカウンセラー	相談日があります。
寄 宿 舎	寄宿舍はありません。
駐 車 場	学院に隣接した民間駐車場があります。

施設の概要



配置図



体育館はもとより、グラウンドやテニスコートまであり、県内有数の規模を誇っています。

看護学科(3年課程)



この学科は、高等学校卒業を入学資格とする、看護師の資格を得るための教育コースです。看護の実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、専門職として保健医療福祉の分野で社会に貢献できる看護師を育成します。



教育内容

基礎分野

- 心理学 (1単位)
- 教育学 (1単位)
- 情報科学 (1単位)
- 論理的思考 (2単位)
- 人間探索 (1単位)
- 社会学 (1単位)
- 倫理学 (1単位)
- 英語 I (1単位)
- 英語 II (1単位)
- 英語 III (1単位)
- 人間関係論 I (1単位)
- 人間関係論 II (1単位)
- 保健体育 (1単位)

専門基礎分野

- 解剖生理学 I (2単位)
- 解剖生理学 II (2単位)
- 生化学 (1単位)
- 病理学 (1単位)
- 病態学 I (2単位)
- 病態学 II (1単位)
- 病態学 III (1単位)
- 病態学 IV (1単位)
- 病態学 V (1単位)
- 微生物学 (1単位)
- 薬理学 (1単位)
- 臨床検査 (1単位)
- 臨床判断の基礎 (2単位)
- 健康と栄養 (1単位)
- 公衆衛生学 (2単位)
- 社会福祉論 (2単位)
- 看護関係法令 (1単位)

専門分野

- 看護学概論 (1単位)
- 共通基本技術 I (1単位)
- 共通基本技術 II (1単位)
- 日常生活援助論 I (2単位)
- 日常生活援助論 II (1単位)
- 診療援助技術 I (1単位)
- 診療援助技術 II (1単位)
- 診療援助技術 III (1単位)
- 健康段階・治癒別看護 (2単位)
- 薬と看護 (1単位)
- 看護過程 (1単位)
- 看護研究 (1単位)
- 地域・在宅看護概論 I (1単位)
- 地域・在宅看護概論 II (1単位)

専門分野

- 家族看護論 (1単位)
- 地域・在宅看護活動論 I (1単位)
- 地域・在宅看護活動論 II (2単位)
- 成人看護学概論 (1単位)
- 成人の健康と看護 I (1単位)
- 成人の健康と看護 II (1単位)
- 成人の健康と看護 III (1単位)
- 成人の健康と看護 IV (1単位)
- 成人の健康と看護 V (1単位)
- 老年看護学概論 (1単位)
- 高齢者の健康と看護 I (1単位)
- 高齢者の健康と看護 II (2単位)
- 小児看護学概論 (1単位)
- 子どもの健康と看護 I (1単位)
- 子どもの健康と看護 II (1単位)
- 子どもの健康と看護 III (1単位)
- 母性看護学概論 (1単位)
- 母性看護活動論 I (1単位)
- 母性看護活動論 II (2単位)
- 母性看護活動論 III (1単位)
- 精神看護学概論 (1単位)
- 精神の健康と看護 I (1単位)
- 精神の健康と看護 II (1単位)
- 精神の健康と看護 III (2単位)
- 看護マネジメント (1単位)
- 医療安全 (1単位)
- 災害看護と国際看護 (1単位)
- 看護実践の倫理 (1単位)
- 臨床看護実践演習 (1単位)
- 多職種連携の基礎 (1単位)
- 多職種連携の実践 (1単位)
- ケーススタディ (1単位)
- 基礎看護学実習 I (2単位)
- 基礎看護学実習 II (2単位)
- 地域・在宅看護論実習 I (2単位)
- 地域・在宅看護論実習 II (2単位)
- 成人・老年看護学実習 I (2単位)
- 成人・老年看護学実習 II (2単位)
- 成人・老年看護学実習 III (2単位)
- 小児看護学実習 (2単位)
- 母性看護学実習 (2単位)
- 精神看護学実習 (2単位)
- 統合実習 (3単位)

合計112単位

取得資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師・助産師学校受験資格

学院行事

- 新入生歓迎体育大会
- 学院祭
- 看護宣誓式

授業日程

- 月曜日～金曜日
- 9:00～16:10

主な実習場所

- 公立大学法人和歌山県立医科大学附属病院及び紀北分院
- 橋本市民病院
- 公立那賀病院
- 独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院
- 和歌山県立こころの医療センター
- (医)南労会 紀和病院
- 和歌山つくし医療・福祉センター
- 県内保健所・保育所・訪問看護ステーション・老人福祉施設 等

学生からのメッセージ

看護学科 令和4年度入学生

私たち看護学科1年生は、社会人経験者も含め個性豊かなメンバーが集まっています。看護宣誓式では、「かけがえのない命に寄り添い、その支えとなる看護師となること」を誓い、授業や演習に日々励んでいます。

看護に必要な知識は幅広い分野にわたるため、勉強に追われる毎日です。しかし、同じ目標に向かって頑張る仲間との学院生活は一日一日がかけがえのないもので、とても充実しています。つらいときは仲間と励ましあい、ともに協力して乗り越えていくなかで大きなやりがいを感じます。

先生方は授業や演習を通じて知識や経験に基づいた実践的な技術や、厳しくも温かい指導で人間対人間の看護で大切なことを教えてくださいます。このような環境のなかで学べることや、大切な仲間と出会えたことに感謝し、これからも学び続けていきたいと思っています。

この学院でともに学ぶ仲間として皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



助産学科

この学科は、看護師の教育を受けた女子が助産師の資格を取得する教育コースです。助産師として実践活動ができる能力を養うとともに、妊産褥婦への援助だけでなく家族を中心とした地域の母子保健の向上に寄与できる人材の育成を目指します。病院、診療所、助産所等に就職し、母子保健の専門職として活躍できます。



教育内容	助産学概論	(1単位)	助産診断・技術学V	(1単位)
	人間の性と生殖	(1単位)	助産診断・技術学VI	(1単位)
	母子の健康科学	(1単位)	健康教育論	(2単位)
	妊娠・分娩・産褥の生理と病態	(2単位)	地域母子保健	(2単位)
	新生児・乳幼児の成長発達	(1単位)	助産管理	(2単位)
	家族の心理・社会学	(1単位)	助産学実習(周産期)	(6単位)
	助産診断・技術学I	(1単位)	助産学実習(分娩介助)	(3単位)
	助産診断・技術学II	(2単位)	助産学実習(NICU・GCU)	(1単位)
	助産診断・技術学III	(2単位)	地域母子保健実習	(1単位)
	助産診断・技術学IV	(2単位)		
				合計33単位

取得資格

助産師国家試験受験資格
 受胎調節実地指導員指定申請資格
 新生児蘇生法講習会一次コース
 (Bコース) 認定資格

学院行事

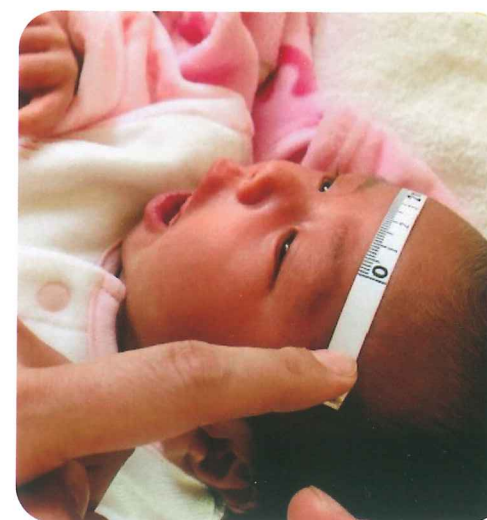
新入生歓迎体育大会
 学院祭

授業日程

月曜日～金曜日 9:00～16:10

実習場所

独立行政法人労働者健康安全機構
 和歌山労災病院
 紀南病院
 公立大学法人和歌山県立医科大学附属病院
 県内保健所・市町村
 小学校・中学校



学生からのメッセージ

助産学科 令和4年度入学生

助産学科は1年間という短い期間で多くの知識と技術を学ばなければなりません。毎日多くの課題に追われながらも、同じ志を持つ仲間と共に切磋琢磨しながら授業や演習、実習を乗り越えてきました。実習では、生命の誕生の素晴らしさに感動するとともに、母子の命を預かるという責任の重さを痛感しました。今後はこの学びを活かし、社会に貢献できる助産師を目指して頑張っていきたいと思えます。

